

表2 2019年度初期環境調査検出状況・検出下限値一覧表

物質 調査 番号	調査対象物質	水質(ng/L)		大気(ng/m ³)	
		範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値
[1]	アジスロマイシン	nd~130 9/25	1.7		
[2]	アゾキシストロビン類				
	[2-1] メチル=(E)-2-{2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル}-3-メトキシアクリラート (別名:(E)-アゾキシストロビン)	nd~100 14/28	1.1		
	[2-2] メチル=(Z)-2-{2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル}-3-メトキシアクリラート (別名:(Z)-アゾキシストロビン)	nd~0.52 4/28	0.39		
[3]	o-アミノフェノール	nd~77 24/25	2.3		
[4]	アモキシシリン ※	nd~2.3 15/24	0.013		
[5]	シアナミド ※	nd~950 14/25	280		
[6]	1,3-ジオキサラン ※			nd 0/17	86
[7]	3-[(ジメチルアミノ)カルボニル]オキシ-1-メチルピリジニウム (別名:ピリドスチグミン)	nd~18 19/26	0.043		
[8]	(4-{[4-(ジメチルアミノ)フェニル]フェニル}メチリデン}シクロヘキサ-2,5-ジエン-1-イリデン)(ジメチル)アンモニウム=クロリド (別名:マラカイトグリーン塩酸塩)	nd~0.96 5/23	0.028		
[9]	N,N-ジメチルピグアニド塩酸塩 (N,N-ジメチルピグアニドとして) (別名:塩酸メトホルミン (メトホルミンとして))	nd~3,600 26/27	0.17		
[10]	セリウム及びその化合物 (セリウムとして)	4.3~1,200 25/25	0.15		
[11]	タリウム及びその化合物 (タリウムとして)	3.4~100 24/24	0.14	0.0036~ 0.43 13/13	0.00020
[12]	2-(1,3-チアゾール-4-イル)-1H-ベンゾイミダゾール (別名:チアベンダゾール)	nd~14 11/26	0.69		
[13]	チアムリン ※	nd~3.1 6/27	0.013		
[14]	N-ニトロソジエチルアミン	0.037~1.6 25/25	0.026	nd~19 19/19	0.058
[15]	N-ニトロソジメチルアミン	0.12~8.1 26/26	0.024	0.087~2.9 19/19	0.0075
[16]	バルプロ酸	nd~24 9/27	3.1		
[17]	ピリジン ※			nd~54 19/19	2.4
[18]	ピリメタニル	nd 0/26	2.1		
[19]	3-ベンジリデンカンファー	nd 0/28	23		
[20]	ベンジル-p-ヒドロキシベンゾエート (別名:ベンジルパラベン)	nd~0.31 1/27	0.29		
[21]	ポリフルオロ酢酸類				
	[21-1] モノフルオロ酢酸	nd 0/28	0.76		
	[21-2] ジフルオロ酢酸	nd 0/28	0.32		
	[21-3] トリフルオロ酢酸	47~420 28/28	8.2		
[22]	レボフロキサシン	nd~540 20/26	0.44		

- (注1) 検出頻度は検出地点数/調査地点数（測定値が得られなかった地点数及び検出下限値を統一したことで集計の対象から除外された地点数は含まない。）を示す。1地点につき複数の検体を測定した場合において、1検体でも検出されたとき、その地点は「検出地点」となる。
- (注2) 範囲は全ての検体における最小値から最大値の範囲で示した。そのため、全地点において検出されても範囲がnd～となることがある。
- (注3) は調査対象外の媒体であることを意味する。
- (注4) 排出に関する情報を考慮した地点も含めて調査した。